

1 - 309 頁

受容史を論じながら、単なる書誌解題ではなく、文化的な面からシェイクスピア受容を捉えた。シェイクスピア書誌史、シェイクスピア映像、日本人独自のシェイクスピアなどにも焦点を当てた。上演では、劇術会、地球座、近代座といった劇団について取り上げ、受容史を論じた。第 1 部は「書誌から見たシェイクスピア受容史研究」とし、時系列で書誌から見た日本のシェイクスピア受容史を論じた。第 2 部は「日本のシェイクスピアの現状と展望」とし、その中で「日本のシェイクスピアの研究の課題」「日本人としてのシェイクスピア」「シェイクスピアと国際化」「日本シェイクスピア書誌の問題点」について論じた。シェイクスピアを通しての国際文化交流と異文化理解についての展望について論じた。(B 5)